

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-26.5.0, pp.1-5)
峯岸幹事より、資料に基づき前回議事録(案)について説明があり、承認された。
2. 全体関係
 - (1) 平成 26 年度基準部の活動について(継続)
 - ① 中期目標における基準の英文化に関する、地盤工学としての戦略に関して
佐藤部長より、英訳化に関する見積りは 340 万であった旨、報告がなされた。
また、寄付金として集めた 550 万円は繰越しが出来ないので、平成 26 年度中に発行できるように作業を進め、発行の目処が立った段階で出資社への英文広告の原稿を依頼することが提案され、承認された。
 - ② 試験基準の ISO 化に際しての確認事項に関して
なし
 - ③ 平成 27 年度予算および事業計画案 (資料-26.5.1, pp.6-15)
佐藤部長および長尾事務局員より、資料に基づき平成 27 年度の予算および事業計画案について説明があり、承認された。また、web 会議で会長および総務中長期財政検討委員会からのヒヤリング結果についても報告があった。
 - ④ 平成 27 年度事業計画「まえぶん」の作成 (資料-26.5.2, pp.16-23)
長尾事務局員より、資料に基づき「まえぶん」作成について依頼があり、室内試験、地盤調査、ISO、技能試験等の担当者がそれぞれ原案を作成して、長尾事務局員へ提出することになった。
 - ⑤ 予算執行状況 (資料-26.5.3, p.24)
長尾事務局員より、資料に基づき平成 26 年度の予算執行状況について説明があり、引き続き定期的に予算執行状況の取纏めを行うことになった。
 - ⑥ その他 (資料-26.5.4, p.25)
長尾事務局員より、資料に基づき滞留未払金について説明があり、基準部関係の未払いはすべて完了したとのことで、確認された。
 - (2) 室内試験規格・基準委員会
なし
 - (3) 地盤調査規格・基準委員会
なし
 - (3) ISO 国内委員会
理事会報告① TC190/SC3/WG10 運営 WG 新任委員
・渡部要一 氏(港湾空港技術研究所)
(理由) 港湾空港技術研究所で 20 年以上にわたり、地盤の化学・物理特性の研究を重ねてこられました。また、土質の性状を把握するうえから、各種の土質パラメーターの測定にも手なれておられます。今般、運営 WG で、ある種の土質パラメーターを測定する日本国内技術の ISO 化を検討することとなり、提案準備や ISO 化提案後の審議に関与いただくため、この分野の専門家としてお出でいただくものです。なお、ご本人は、地盤工学会国際部・前部長でおられ、運営 WG の ISO 化事業についても正しい見識をお持ちです。
長尾事務局員より、説明があり審議の結果承認され、理事会へ報告事項として提出することになった。
 - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
なし
 - (5) 表記法検討委員会
なし
 - (6) 技能試験実施委員会
なし
 - (7) 部員の異動
なし
3. 委員等の異動
 - (1) 室内試験規格・基準委員会
なし
 - (2) 地盤調査規格・基準委員会
なし
 - (3) ISO 国内委員会
理事会報告① TC190/SC3/WG10 運営 WG 新任委員
・渡部要一 氏(港湾空港技術研究所)
(理由) 港湾空港技術研究所で 20 年以上にわたり、地盤の化学・物理特性の研究を重ねてこられました。また、土質の性状を把握するうえから、各種の土質パラメーターの測定にも手なれておられます。今般、運営 WG で、ある種の土質パラメーターを測定する日本国内技術の ISO 化を検討することとなり、提案準備や ISO 化提案後の審議に関与いただくため、この分野の専門家としてお出でいただくものです。なお、ご本人は、地盤工学会国際部・前部長でおられ、運営 WG の ISO 化事業についても正しい見識をお持ちです。
長尾事務局員より、説明があり審議の結果承認され、理事会へ報告事項として提出することになった。
 - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
なし
 - (5) 表記法検討委員会
なし
 - (6) 技能試験実施委員会
なし
 - (7) 部員の異動
なし
4. ISO 国内委員会 関係
なし

5. 地盤工学表記法委員会 関係

なし

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

理事会審議 (1) 新規制定基準(案)_JGS2552 岩石の一軸引張り試験方法 (資料-26.5.5, pp.26-32)

藤原部員より、資料に基づき「岩石の一軸引張り試験方法」の基準案について説明があり、本基準案は「岩石の圧縮試験方法」をベースに作成されていること、他の基準と異なり引張りを正 (+) にして整理することなどが説明された。このときに、「注記」がいきなり出てくるのはいかがなものかとの意見があり、基準の構成について WG で再考していただくことになった。

後刻、部員にメールで内容確認の依頼をすることになった。

また、英訳化については、英訳化実行委員会が作成したフォーマットに合わせて、作業を進めてもらうことになった。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

理事会審議 (1) 単孔を利用した地下水流向流速測定方法 (資料-26.5.6, pp.33-43)

浜田部員より、「単孔を利用した地下水流向流速測定方法」の基準案について説明があり、審議の結果承認され、理事会へ審議事項として上申することになった。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

なし

9. 技能試験実施委員会 関係

(1) 平成 26 年度 地盤材料の技能試験報告書(案)

藤原部員より、当日配布の資料の基づき、技能試験報告書(案)が説明され、後刻、報告書(案)の PDF ファイルを部員へ送るので確認をして、意見等がある場合は 1 月 26 日までに藤原部員へ申し出ることになった。

なお、将来的に地盤工学会において、試験認証制度の事業化が出来ないかを検討する。事業化に当たっては、現在の物理試験のみではなく、三軸 (uu、cu、cd) や一軸、一面せん断、圧密などの力学試験も加える。

2 月 2 日に開催される技能試験実施委員会に佐藤部長 (TV 会議) と大河原理事がオブザーバーとして出席することになった。

10. 基準部所管刊行物

なし

11. その他

なし

報告事項

1. 理事会 (H26/11/28、12/24 (書面会議)) 開催報告

(資料-26.5.7, pp.44-51)

佐藤部長より、資料に基づき理事会の報告がなされた。

2. 全体関係

なし

3. 部会・委員会関係

理事会報告 (1) ISO 国内委員会

① 平成 26 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	100 万円		○		
・三菱総合研究所 (回答作成)	0 万円		○		
・三菱総合研究所 (旧重点TC旅費)	0 万円		○		
・日本建設業連合会	50 万円		○		
・ISO/TC190 関係 (研究委託)	50 万円		○		
・三菱総合研究所 (国際標準開発事業)		970 万円	○		
小計	200 万円	970 万円			
合計	1170 万円				

長尾事務局員より、資料に基づき報告がなされ、土木学会および三菱総研、日建連からの助成金は、ISO

に関連するものであれば、TC182 や TC221 でも使用することが出来るとのことであった。

また、三菱総研（国際標準開発事業）は、日本発の基準について検討する事業で1期3年3期まで支援が受けられるとのことであった。（伊佐治事務局員）

② 国際会議派遣 (資料-26.5.8, p.52)

長尾事務局員より、資料に基づき報告がなされた。

(2) 地盤工学表記法委員会

なし

(3) 室内試験規格・基準委員会

なし

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法 (資料-26.5.9, pp.53-63)

浜田部員より、資料に基づき「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」の素案について報告がなされた。

② 地盤調査規格・基準委員会（平成26年度第2回）議事録 (資料-26.5.10, pp.64-65)

浜田部員より、資料に基づき報告がなされた。

③ WG3 活動報告 (資料-26.5.11, p.66)

浜田部員より、資料に基づき報告がなされた。

④ 地盤工学用語への意見に対する回答・質問 (資料-26.5.12, 別添資料)

伊貝部員より、資料に基づき報告がなされ、以下のコメントがあった。

地下水WGからの意見について、表記法委員会ではどのように対応するのか。

新しい用語の提案は受け入れがたい。

一般技術者からのレアな意見は、丁重に返したらどうか。 など

⑤ 会員からの質問と回答

浜田部員より、資料に基づき報告がなされた。

(資料-26.5.13, p.67)

(5) 地盤設計・施工基準委員会

なし

理事会報告 (6) 技能試験実施委員会

① 技能試験実施委員会幹事会（平成26年度第1回）議事録 (資料-26.5.14, pp.68-70)

藤原部員より、資料に基づき報告がなされ、今後の方針等は2月2日の委員会で検討するとのことであった。

(7) 販売促進WG

なし

(8) 英文HP

なし

(9) 調査研究委員会企画案（地下水関係）

なし

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

●H26年度 基準部関係委員会開催状況

委 員 会 名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	佐藤 毅	5/2, 7/8, 9/2, 11/11, 1/20
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	今村 聡 木幡 行宏 川端 淳一 坂井 宏行 宮田 喜壽	1/7, 4/23, 11/4, 1/14 7/8

室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG13 岩石の一軸引張試験基準化 WG ・WG14 過酸化水素水による土および岩石の酸性化可能性試験方法基準化 WG	川崎 了 (小口和明) (倉倉宏史) (大向直樹) (片岡沙都紀) (藤岡一頼) 木幡 行宏 大島 昭彦 谷 和夫 川地 武	6/20 6/ 11, 7/31 7/3, 8/8, 9/4, 4/10 7/28
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 載荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 ・WG10 不飽和地盤における現場飽和と透水係数の測定方法 (仮称) ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG12 解散 ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG ・WG14 解散	利藤 房男 斉藤 秀樹 正垣 孝晴 進士 喜英 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 伊藤 高敏	8/12, 12/10, 2/23 5/26, 9/30, 11/17, 1/19 4/16 6/23, 9/29 2/2 11/20
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	木幡 行宏 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	大島 昭彦	4/9, 7/10, 9/16
技能試験実施委員会	日置 和昭	2/2

次回ISO国内委員会で、経産省等の情報を共有するため、宗像部員に都合が合えばオブザーバーとして出席してほしい旨要請があり、同部員より快諾を得た。

5. その他

- 1) 理事会 (平成27年1月30日 (金)) への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会 (平成 27 年 2 月 17 日 (火) 開催予定) への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日

- ・ **26年度第6回：第1案** 平成 27 年 3 月 **2** 日 (月) 14:00～
第2案 平成 27 年 月 日 () 14:00～
(対応理事会 H27.3.13 or H27.4.22)
- ・ 27年度第1回：平成 27 年 5 月 日 () :00～
(対応理事会 H27.5.15 or H27.6.11)

★ 平成 26 年度 理事会 開催日程 (予定含む)

- ① 4 月 23 日 (水) ※書面審議
- ② 5 月 16 日 (金)

- ★ 6月12日(木) 総会/理事会
- ③ 6月19日(木) ※書面審議
- ④ 7月24日(木)
- ⑤ 9月26日(金)
- ⑥ 10月22日(水) ※書面審議
- ⑦ 11月28日(金)
- ⑧ 12月24日(水) ※書面審議
- ⑨ 1月30日(金)
- ⑩ 2月19日(木) ※書面審議
- ⑪ 3月13日(金)

-
- ⑫ 4月22日(水) ※書面審議
 - ⑬ 5月15日(金)
 - ★ 6月11日(木) 総会/理事会